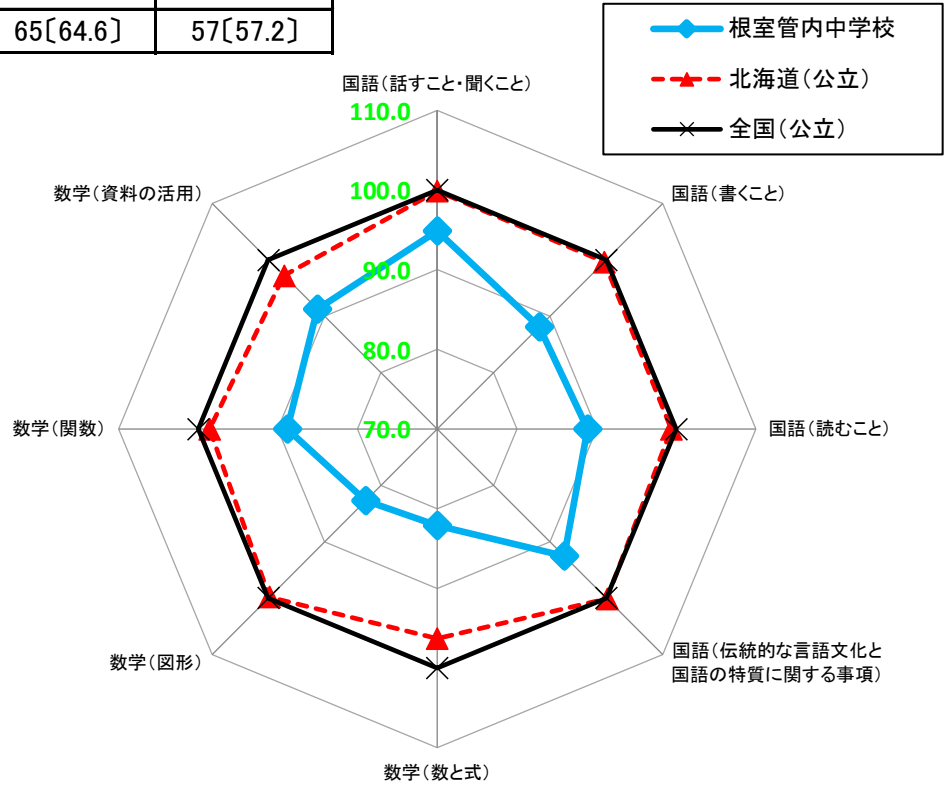
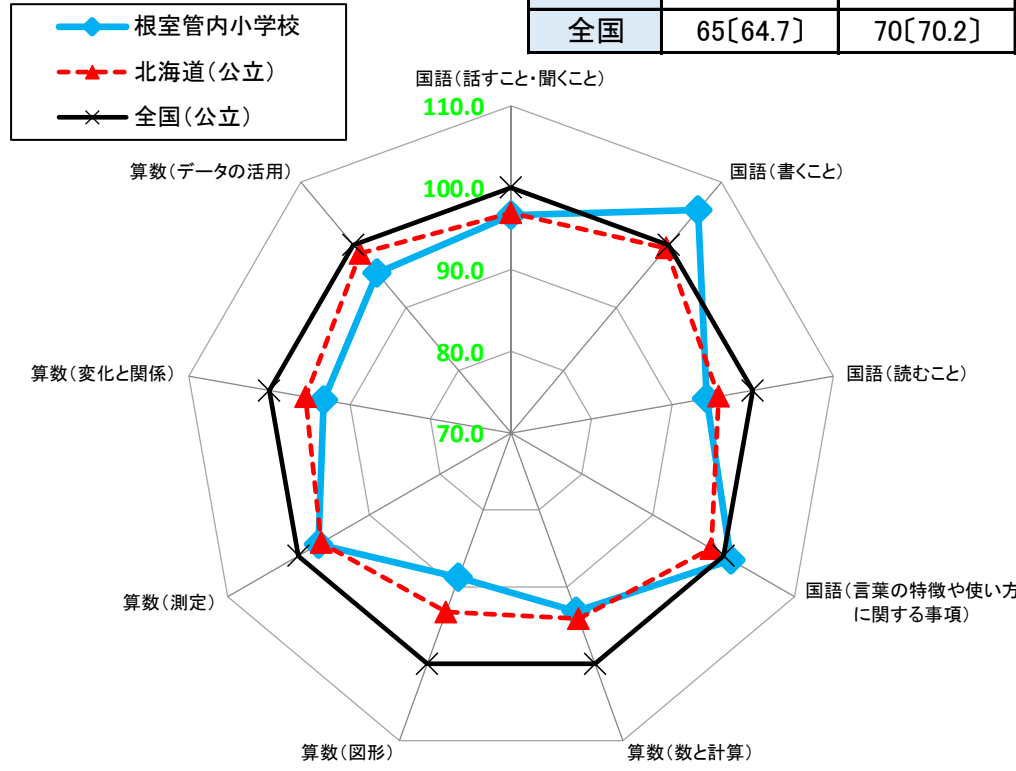


■根室の状況及び学力向上策 (小学校数:24校、児童数:576人)(中学校数:20校、生徒数:587人)

小学校 【教科全体の状況】

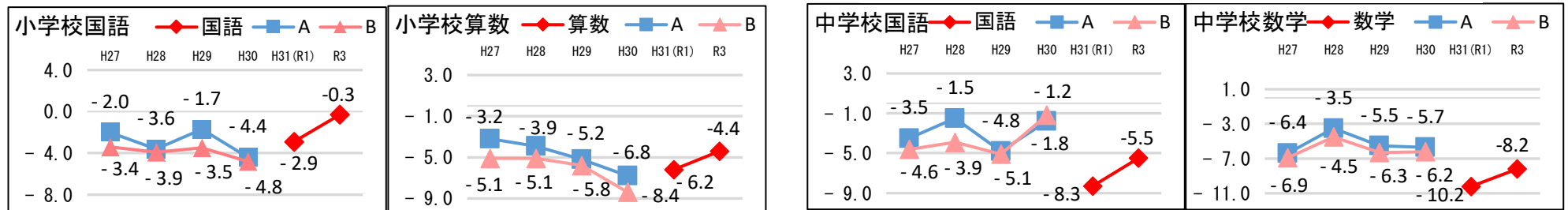
平均正答率	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
根室	64[64.4]	66[65.8]	59[59.1]	49[49.0]
全国	65[64.7]	70[70.2]	65[64.6]	57[57.2]

中学校



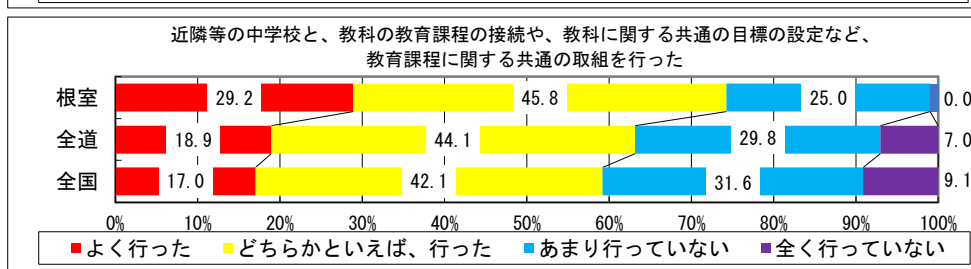
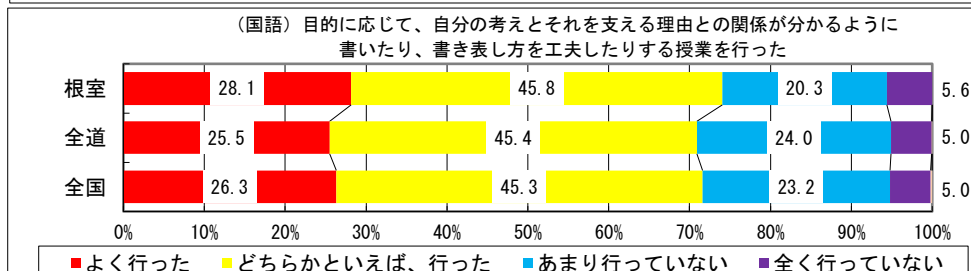
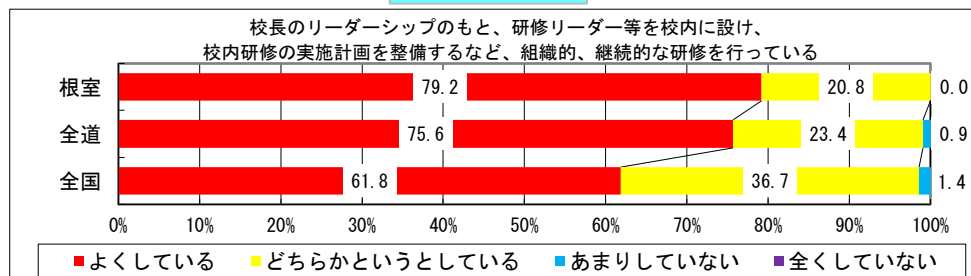
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの (管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

【平均正答率の推移】 「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

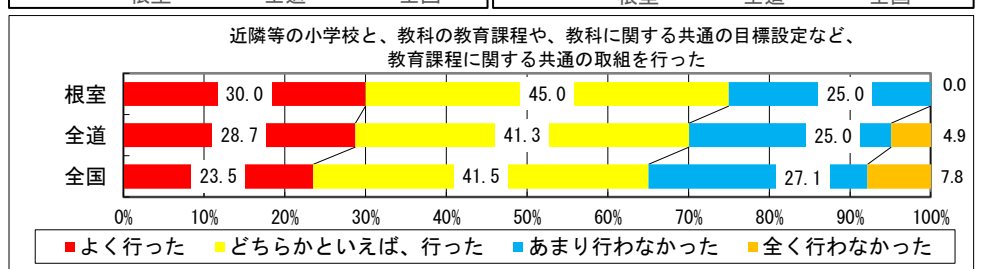
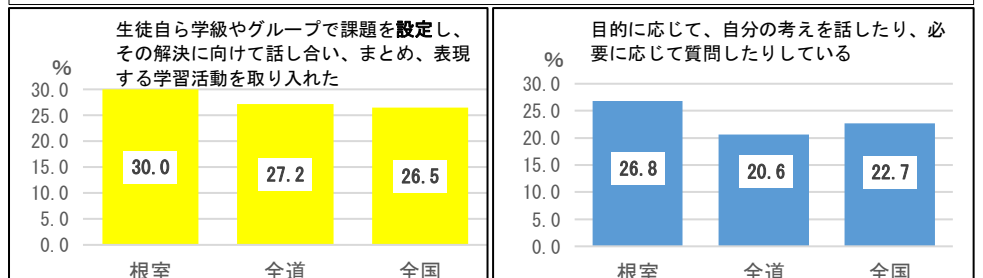
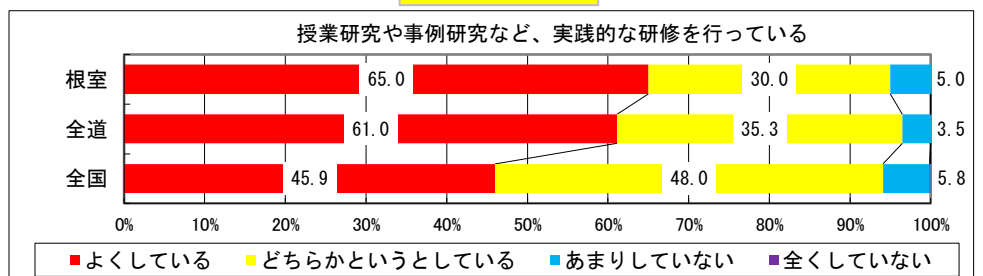


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の小学校において、校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的・計画的な研修を行ったことにより、国語及び算数の平均正答率が、平成31年度よりも上回ったと考えられる。

管内の小学校において、国語の授業において目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書き、書き表し方を工夫したことにより、国語の「書くこと」の領域で平均正答率が、全国を上回ったと考えられる。

管内の小学校において、9年間を見通して、中学校と課題を共有し、連携して改善を図る取組を進めたことにより、近隣等の中学校と教育課程に関する共通した取組を行う学校の割合が、全国を上回ったと考えられる。

中学校

管内の多くの中学校において、授業研究や事例研究など実践的な研修を推進したことにより、学校が一体となった授業改善が図られ、国語及び数学の平均正答率が、平成31年度よりも上回ったと考えられる。

管内の中学校において、生徒自ら課題を設定しその解決に向けて話し合い、まとめ、表現する学習活動を取り入れたことにより、目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりする生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。

管内の中学校において、9年間を見通して、小学校と課題を共有し、連携して改善を図る取組を進めたことにより、近隣等の小学校と教育課程に関する共通した取組を行う学校の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【根室の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

根室管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立

- 各種調査結果の分析が指導の改善に十分に結び付いていないことから、全教職員で、取組を継続的に検証し改善するサイクルを確立する必要がある。
- 各種調査結果を分析する組織体制を整備し、全教職員で課題や改善方を共有する。
- 年間を見通して、全国学力・学習状況調査等の各種調査の分析を継続的に実施し、取組の改善を図る。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- 教師による説明が多い授業や児童生徒の活動が目的化する授業が見られることから、育成する資質・能力を明らかにした授業改善を図る必要がある。
- 学習指導要領を踏まえ、育成する資質・能力を明確にした単元の指導計画の作成及び単元の指導計画に基づく「ねらい」から「まとめ・振り返り」までの一単位時間を構想するためのポイントを明確にし、学校全体で共有する。
- 各教科等の指導において、育成すべき資質・能力を踏まえた指導と評価の一体化を図る学習評価、学習に困り感をもつ児童生徒への対応の充実を図る。

(3) 学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域との連携

- 9年間を見通した学校間連携や家庭学習習慣の確立に課題が見られることから、中学校区で取組を共有するとともに、家庭・地域と連携した取組を進める必要がある。
- 中学校区や近隣の学校間で「目指す子ども像」を共有し、連携・一貫に向けて具体的な取組を位置付ける。
- 学校・家庭・地域と連携した生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組の充実を図る。

2. 具体的な取組

月	(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立	(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	(3)学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域との連携
	学校教育指導訪問 (計画・要請・リモート訪問)	学校教育指導訪問 (計画・要請・リモート訪問) ミドルリーダーによる授業への支援 授業づくりの基本研修会	学校教育指導訪問 (計画・要請・リモート訪問) 「根室教育局『親学』UP!プロジェクト」 市町独自事業への支援
10	学力担当教諭協議会（ミドルリーダーによる取組の検証及び改善方策の検討）		
11	教育委員会・教育局義務教育担当者会議・管内課題解決Web研修会		
12		中学校「授業改善セミナー」	
1	第2回 組織力強化会議（ミドルリーダーによる年間の取組の検証及び次年度に向けた取組の構想）		
2	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及
3	教育委員会・教育局義務教育担当者会議		

3. 取組の評価

<p>(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</p> <p>①「自校の現状と課題を踏まえた検証改善サイクルの確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.54、中…3.38 (4点中) ・目標 小…3.60、中…3.60 (4点中) ・達成値 小…3.25、中…3.30※10月 <p>②「全教職員による分析及び検証改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…75.0%、中…90.5% ・目標 小…100%、中…100% ・達成値 小…91.7%、中…95.0%※10月 	<p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <p>①「主体的・対話的で深い学びの実現」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.38、中…3.00 (4点中) ・目標 小…3.50、中…3.50 (4点中) ・達成値 小…3.29、中…2.90※10月 <p>②「学習評価の改善・充実」(新規項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 新規項目のためデータなし ・目標 小…80%、中…80% ・達成値 小…87.5%、中…90.0%※10月 	<p>(3)学校間の連携・一貫及び学校・家庭・地域との連携</p> <p>①「異校種との連携を図る教育活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…62.5%、中…57.1% ・目標 小…80%、中…80% ・達成値 小…66.7%、中…80.0%※10月 <p>②「学校・家庭・地域が一体となった生活習慣・学習習慣の確立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状 小…3.17、中…2.81 (4点中) ・目標 小…3.30、中…3.30 (4点中) ・達成値 小…2.79、中…2.55※10月
--	--	--

4. 改善点

<p>(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学力担当教諭協議会」及び「第2回組織力強化会議」において、管内の学校の検証改善サイクルの確立に向けた取組の好事例を周知するとともに、各学校の取組の見直し・改善を図る。 ○「教育委員会・教育局義務教育担当者会議」において、各学校の取組の成果と課題を明確にするとともに、課題解決に向けた方策を協議し、指導助言の充実を図る。 	<p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「管内課題解決Web研修会」及び中学校対象の「授業改善セミナー」において、調査結果を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の在り方を周知し、改善を図る。 ○学校教育指導訪問において、各学校が目的意識を高めながら、授業改善が図られるよう「学校訪問マネジメントシート」を活用した指導助言の充実を図る。 	<p>(3)学校間や学校と家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学力担当教諭協議会」及び「第2回組織力強化会議」において、各学校が中学校区で課題や改善方を協議する場を設定するなどして、各中学校区において、連携・一貫した取組の充実を図る。 ○管内の生活習慣及び学習習慣の確立に向けた取組の好事例を周知し、各学校の取組の見直し・改善を図る。
--	--	--